



# ご退職・ご転任の先生方 長い間ありがとうございました。

武藏を去るにあたつて



昆布谷 年尾

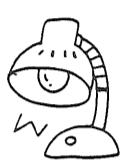
藏の伝統は自由だとは、いつから事だらう。この自由こそ誤解を招き易い。

現在の生徒は、クラブ活動に熱心である。日曜も祭日もない。夏休みも冬休みもない。クラブ・クラブで日暮れる。勿論すべての生徒ではないが、これが学校の雰囲気である。身体を鍛える事、非常に大切な事だが、自主的に勉強をする、校舎もきれいにする時間があつてもよいのではないか。自分自身を磨いて、人々から信頼される武藏になってほしいものである。

時は流れ、世の中は変り、いつの間にか四十一も過ぎて、この三月末で退職致しました。校歌は武藏野の面影を忍ぶようですが、変わるのは武藏境の駅と自分だけのようです。生徒の考え方も大いに変りました。新入生に贈る生徒会長の言葉に「あなた方は中学校では、かなり厳しく躾けられてきたとの事ですが、恐らく上から半強制的な思想行動によるのであります。しかしこの学校は殆ど

の半強制的な思想行動によるのであります。しかしこの学校は殆ど点で生徒の自由です」とある。武藏で一番悪い教師の一言

杉本 鑄彦



のころから者になってしまったのです。それは僕が化学の勉強をわろそかにしてしまったからです。なぜかというと、先生はラクダイ点はやらないから化学の嫌いな人はほかの教科をしっかりとやればよいといったからです。そして化学をやらなくなりました。ちょうどむずかしくなってきて、今から理解しようとしてもずっと前の所から復習しなければならなかったのです。そんなことはやつていられないからやめました。もし先生がもう少しいうきく言つていればやつていたかもせん。先生に言われなくても皆はできるでしょうが、二学期・三学期になるとできなくなる人が多いというような話をきました。そのときには、でできなくなる奴はおろかな奴だろうと思いましたが、今では自分がそ

何年か前、三学期の答案に次のような文章が書かれていました。

「……なぜ化学会できなくなつたのでしょうか。私がこの高校に入つて最初に化学の授業をうけたときに先生から、化学Ⅰの授業は一学期のうちはみんなよくできるが、二学期・三学期になるとできなくなる人が多いというような話をきました。そのときには、でできなくなる奴はおろかな奴だろう

と思いましたが、今では自分がそ



再見 武藏

井関 幸子

のころから者になってしまったのです。それは僕が化学の勉強をわろそかにしてしまったからです。なぜかというと、先生はラクダイ点はやらないから化学の嫌いな人は

ほかの教科をしっかりとやればよいといったからです。そして化学をやらなくなりました。ちょうどむずかしくなってきて、今から理解しようとしてもずっと前の所から復習しなければならなかったのです。そんなことはやつていられないからやめました。もし先生がもう少しいうきく言つていればやつていたかもせん。先生に言わ

れなくても皆はできるでしょうが、二学期・三学期になるとできなくなる人が多いというような話をきました。そのときには、でできなくなる奴はおろかな奴だろう

と思いましたが、今では自分がそ

生にもんくを言つてもしようがないですが、先生ももう少し教える気になつてもらいたい。……」

杉本は次のように書きました。

「私に対して、あなたのようないい人はいつかは大人になり、しかし人は少くないと思います。

生にもんくを言つてもしようがないですが、先生ももう少し教える気になつてもらいたい。……」

武藏高校は教師が生徒の尻を引いたかない学校です。中学から生き残るいちょう並木も、担任の先生だった石沢先生や担当教科の社会科の先生方も卒業した時と全くかわらないメンバーで迎えて下さりました。それから二十年、長男の誕生や高校紛争等の波をくぐりながら、担任教師として四回の卒業生を送り、経理部の連絡係をしてたりして、無我無中で過ごして来たように思います。

## 怪人二十面相

黒澤 完治

くづく思う。

縁起でもなくて申訳ないが、故人老いらず、僕の記憶にある同窓会の皆さんは、何時も、十七、八才時の盛年のままであり、自分もかつては、それと同じ年代のこ

とがあつたとは信じられない程、新鮮であり、フレッシュである。

自分もこれからは、同窓会の名譽会員として、その末席を汚すことになるでしょうが、恥ずかしながら大分遅すぎたようだ。と思つた途端に次の事に思い付いた。いえ生者老いやく恨かな、で現在の

自分が鏡を見るのをためらわれる

正に還歴、一回り六〇年、昔の

人には上手に暦を作つたものだとつ

る。

自分が鏡を見るのをためらわれる

正に還歴、一回り六〇年、昔の

人には上手に暦を作つたものだとつ

て、都立西高校に転勤することになりました。やり残した事が一杯で杉本のよくな悪い教師を乗りこえて、自分のことは自分で処理できる人に、皆はなつてゆくようですね。

その間、同窓会の灯だけは消してはならないと、年度末から五月の総会にかけては、高橋正子先生と一緒に目の回るような忙しさでした。学校の仕事も年度初めの時期と重なり、大変な慌ただしさでした。この二・三年は、武藏高

生だつた石沢先生や担当教科の社会科の先生方も卒業した時と全くかわらないメンバーで迎えて下さ

いました。それから二十年、長男の誕生や高校紛争等の波をくぐりながら、担任教師として四回の卒業生を送り、経理部の連絡係をしてたりして、無我無中で過ごして来

たように思います。

その間、同窓会の灯だけは消してはならないと、年度末から五月の総会にかけては、高橋正子先生と一緒に目の回るような忙しさでした。学校の仕事も年度初めの時期と重なり、大変な慌ただしさでした。この二・三年は